

ズバリ 町政を 問う!

一般質問とは?

定例会で、議員が町の施策の状況や方針などについて報告・説明を求め、疑問点を質したり政策を提案することを一般質問といいます。

発言時間は答弁を含め、1人60分以内としています。

皆さんの「暮らし」にかかわることを、議員が質問をしました。

ページ	質問者	質問事項
9	藤本 健太 議員	1. 子ども議会の開催に対する対応は 2. 地震災害に関する対策をし、町民の皆様が少しでも安心して暮らせるまちづくりを
10	水原 耕一 議員	1. 障がい児福祉の支援の充実は 2. 耕作放棄地の増加。これからの農業のあり方は
11	民法 正則 議員	1. 地域おこし協力隊員の目的は 2. ドローンの活用を
12	中島 数宜 議員 尺田 耕平 議員	1. 熊野町文化財保存に向けた取組みは 1. 町職員の雇用と就労状況は
13	竹爪 憲吾 議員 光本 一也 議員	1. 地震災害の備えは 1. 認知症高齢者のご家族にGPS機器の購入費補助を
14	沖田 ゆかり 議員	1. 町民の健康増進を 2. 困難な問題を抱える女性への支援を
15	荒瀧 穂積 議員	1. 筆の里工房及び周辺整備計画は 2. 道づくりはまちづくり。県道延伸をどう活かすか

※紙面の関係により、質疑の一部のみを掲載させていただいています。

また、分かりやすい紙面にするために、趣旨が変わらない程度の編集を行っています。

なお、熊野町議会のホームページ(<http://www.town.kumano.hiroshima.jp>)から、一般質問の全ての内容を視聴することができます。



藤本 健太 議員

Q 子ども議会の開催に対する対応は

A 教育長

今後教育内容や計画を照らし、実施に向けて調査研究したい。

【Q1】

令和5年【子ども基本法】が策定されたが、町の方では何かこれに対するアプローチはしているか。

【A1】

今後子ども・若者の意見の聴取、施策への反映といったことに取り組むたいと考えているが、現時点では具体的な方法等は決まっていない。

【Q2】

子ども基本法の制定以降、このことに関して町民の方からの反応や近隣の自治体での動きは。

【A2】

今のところ町民からの意見や問い合わせなどはない。近隣の市町においても、国から大綱が示されたばかりということもあって、どこもまだ研究途中である。

【Q3】

子どもたちが自ら考え、発信していく場として子ども議会をぜひ開催しては。

【A3】

「ふるさと教育」に通じる学習として、自分の住んでいる自治体の行政について関心を深め、子ども達の視点で捉えた意見を発表する良い機会であると考えている。

【Q4】

本町でも過去に1度だけ「子ども議会」が開催されたが、その時の児童の提言に対する町としての取組は。

【A4】

学校施設の改修や改善、また児童生徒が使用する机や椅子の備品等の改修に向けての取組や、通学路の安全施策についても、児童の提言や各学校等から意見を集約し危険箇所の改善等に取り組んでいる。

Q 地震災害に関する対策をし、町民の皆様が少しでも安心して暮らせるまちづくりを

A 建設農林部長

来年度、耐震改修工事にかかわる補助制度を策定する予定である。

【Q1】

南海トラフ地震や本町が震源となる直下型地震が発生した場合の被災状況の想定は。

【A1】

広島県の地震被害想定公表では、南海トラフ地震は、震度5強から震度5弱の揺れが想定され、被害については、全壊が64棟、半壊が260棟で、死者0人、負傷者17人となっている。

また、本町が震源となる直下型地震において、震度6強から震度6弱の揺れが想定され、被害については、全壊が693棟、半壊が2696棟で、死者43人、負傷者624人となっている。

【Q2】

被害想定における発生確率は。

【A2】

南海トラフ地震は今後30年以内で発する

確率として、70～80パーセントを想定している。

【Q3】

旧耐震建築物の調査は。

【A3】

学校の校舎や体育館は、耐震診断を実施している。耐震性能が不足している建物は耐震改修工事を行い、耐震化が完了している。

住宅についての、耐震診断は建物の所有者が実施することになっている。

【Q4】

費用の大きい耐震改修工事の助成等は。

【A4】

今年度、策定している熊野町立地適正化計画に伴い、来年度より耐震改修工事に関わる補助制度を制定する予定。